

令和6年度 0歳児 年間指導計画 南保育園

園 長		副 園 長		担 任	
--------	--	-------------	--	--------	--

年間目標	●落ち着いた雰囲気の中で欲求を満たし、情緒の安定を図るとともに、一人ひとりの豊かな個性の発達と保育者との信頼・愛着関係、仲間関係の基礎を育てる。 ●個人差に留意しながら離乳の完了や歩行、発語への意欲を育む。 ●衛生的で安全な環境を整え、さまざまな経験を通して感覚の発達を豊かにし、身の回りの物事への興味・関心をもてるようにする。		健康 安全 災害	●視診・触診・検温は毎日行い、健康的に過ごすために感染症の早期発見、予防に努める。 ●施設内の環境整備を行う。 ●危機管理マニュアルの確認 ●乳幼児突然死症候群の予防	一年間の保育に対する自己評価	
期	1期（4月～5月）		2期（6月～8月）		3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
ねらい	●一人一人の生活リズムを大切にし、保護者と連携しながら園生活に慣れ、安心して過ごす。 ●保育者とのふれあい遊びや、やりとりを楽しみながら、信頼関係を築いていく。		●快適に過ごせるよう、保健衛生面に配慮しながら、一人一人の体調を把握し、沐浴・水遊びを行う。 ●欲求を満たしてもらい、受容される喜びを感じる。		●気候に応じた戸外遊びや散歩を取り入れ、自然に触れて遊んだり、全身を使って遊んだりしながら体を動かす楽しさを感じる。 ●保育者とのかかわりの中で、喃語や一語文を発することを楽しむ。	●安定した環境の中で探索行動を通して、いろいろな人や物にかかわりながら、好きな遊びを楽しむ。 ●保育者や他園児と同じことをしたり、一緒にいることを喜ぶ。
月齢・年齢	3か月～6か月未満		6か月～9か月未満	9か月～12か月未満	1歳～1歳3か月未満	1歳3か月～2歳未満
子どもの姿			●離乳食を食べ始める。（初期食、一回食、ゴックン） ●舌と上あごで食べ物をつぶすことができるようになり、中期食、二回食になる。 ●人見知りをするようになり、はいはいが、ずりばいから四つばいになる。 ●自由に寝返りをし、腹這いで前後に進むようになる。 ●機嫌が良い時は声を出して遊んだり、あやされる声に応じたりする。	●ずりばい、四つ這いなどで移動する。 ●言葉をまねたような声を出したり、指さしをしたりするなど意志を伝えようとする姿が活発になる。 ●食べることに意欲的になり、手づかみで食べるようになる。（後期食） ●つかまり立ちや伝い歩きなど歩行への意欲と活動が活発になる。	●スプーンやコップを使おうとする。歯茎や乳歯を使って噛んで食べる。（幼児食） ●つたい歩きから一人歩きができるようになり、行動範囲や興味の幅が広がる。 ●リズムのよい簡単な歌や手遊び、保育者とのふれあいや遊びを楽しむ。 ●つまむ・引っ張るなど、手や指を使うようになる。 ●戸外に行くことを喜び、虫や植物に興味を示す。	●一人歩きが安定し、小走りで歩いたり、段差のあるところを歩いたり、跳び下りるなど、上下の運動に挑戦する。 ●手の細かいコントロールが進み、積み木を積んだり、なぐり描きが点から曲線を描いたりするようになる。 ●他の園児への関心を示し、持っているものを欲しがったり触ろうとしたりする。 ●言葉が増え、二語文を話す。

養護 (生命の保持・ 情緒の安定)		<p>■一人ひとりの発達状態に合わせて、離乳食の開始や内容を検討する。</p> <p>■睡眠リズムの変化に対応して、活動時間や内容を調整する。</p>	<p>■子どものさまざまな欲求にこたえ、安心して生活を送れるようにする。</p> <p>■特定の大人と愛着関係を築いたうえで好奇心を満たしていく。</p>	<p>■安心感や満足感の中で保育者や他児とかかわることを楽しめるようにする。</p> <p>■食後は手や口元をおしぼりで拭いたり、口の中に食べ物が残らないよう水分を摂るようにしたりする。</p>	<p>■保育者に受け止めてもらうことで言葉を話す楽しさを感じ、気持ちを表現できるようにする。</p> <p>■けがや事故のないようにそばで見守り、自分でやってみたいという気持ちを尊重する。</p>
教育 (三つの視点)		<p>★保育者と目が合い、あやされると機嫌よく過ごす。</p> <p>★おむつをこまめに交換し、快適に気持ちよく過ごせるようにする。</p> <p>★動く玩具を目で追ったり、手を伸ばしたりする。</p>	<p>★園での食事に慣れ、落ち着いて食事をとる。</p> <p>★保育者の語りかけに、喃語で反応するなどのやりとりを楽しむ。</p> <p>★天気の良い日は戸外に出て、のびのびと過ごす。</p>	<p>★歩行ができるようになり、保育者に見守られながら、安心して探索活動を楽しむ。</p> <p>★少しずつ友だちに興味を持ち、関わろうとする。</p> <p>★スプーンやコップなどに興味を持ち、自分なりに使ってみようとする。</p>	<p>★指差しや片言、ジェスチャーで気持ちを表し、伝えようとする。</p> <p>★身体を動かす遊びに興味を持ち、保育者や友だちと触れ合い遊びを楽しむ。</p> <p>★衣服の着脱に意識が向き、自分でしようとする意欲がでる。</p>
教育 (健康・人間関係・環境・言葉・表現)		<p>★保育者に抱かれ、安心して語りかけてもらいながらミルクを飲む。</p>	<p>★保育者の受容的な温かい関わりの中で、言葉や身近なものに興味を持ち、指差しやジェスチャーで気持ちを通わせ、やりとりを楽しむ。</p>	<p>★指先を使った細かい動きを楽しむ。</p> <p>★特定の保育士と喃語や言葉のやりとりを楽しむ。</p>	<p>★周りの人を意識し、かかわろうとする意欲が出る。</p> <p>★衣服の着脱に意識が向き、自分でしようとする意欲が出る。</p>
環境構成 援助 配慮		<p>■寝返りの妨げとなるようなものを取り除き、自由に身体を動かせるスペースをとる。</p> <p>★声をかけたり、ふれあったりしてあやすことで子どもの反応を引き出す。</p>	<p>■興味や発達に合わせて子どもの好奇心や探索行動が満たせるように環境を整える。</p> <p>★保育者に欲求を訴えていたときに、すぐ対応できるようにそばで見守る。</p>	<p>■のびのびと身体を動かせるように広いスペースをとる。</p> <p>★体調を崩すことがないように、体調面を配慮しながら活動場所、活動時間を決める。</p>	<p>■1人遊びでも他児の遊びが視界に入るように同じ空間で行う。</p> <p>★子どもの気持ちを言葉にして返したり、共感したりすることで言葉の発語を促していく。</p>

月 齢 ・ 年 齢	3 か 月 ～ 6 か 月 未 満	6 か 月 ～ 9 か 月 未 満	9 か 月 ～ 1 2 か 月 未 満	1 歳 ～ 1 歳 3 か 月 未 満	1 歳 3 か 月 ～ 2 歳 未 満
子育て支援 (保護者支援)		●離乳食の進みを保護者から聞き、園での食事状況をつたえながら、家庭と同じ援助ができるようにするとともに、進められるようにする。	●盛んに動き始めると、家庭でも事故につながる危険な物が多くあることや子どもにとっての安全な環境について保護者に伝える。	●自我の芽生えは1つの大切な成長であることを伝え、些細な悩みでも受け止め、相談にのるようにする。	●悩みがないか保護者の様子を見る。自分でできた満足感が意欲につながることを伝え、自ら取り組めるようなかわり方をする。
食育		●「食を営む力」の育成 食べることを楽しみ、食事を楽しみあう子どもに成長していくことを目指す。			→
		●アレルギーのある子どもには、除去食や代用食で対応する。 ■一人ひとりの離乳食の状況に合わせて、内容を検討したり、家庭とともに進めたりする。	■一人ひとりに合わせて、スプーンや手づかみで食べることを経験させるようにする。 ●衛生面に配慮しながら、手づかみ食べを認め、自分で食べようとする意欲を高める。	●スプーンやフォークの持ち方を丁寧に教え、徐々に使えるようにする。	●こぼしながらも、スプーンやフォークを使って食べるように言葉かけを行う。
長時間保育		心身の状態に注意深く配慮しながら家庭と連携していく			→
期	1 期（4 月 ～ 5 月）	2 期（6 月 ～ 8 月）		3 期（9 月 ～ 1 2 月）	4 期（1 月 ～ 3 月）
年齢別研修	テーマ「すこやかな育ち」 サブテーマ「保育の質の向上」 内容「子どもを尊重する保育」				→
自己評価					

令和6年度 1歳児 年間指導計画

南保育園

		園長		副園長		担任	
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ●安心できる保育者との関係を築きながら、保育者に援助され基本的な生活習慣の基礎が身に付く。 ●安全で安心な環境の中で伸び伸びと遊び、いろいろな経験を重ね、感覚の発達を豊かにし、身の回りの物事への興味、関心が持てるようにする。 		健康 安全 災害	<ul style="list-style-type: none"> ●視診・触診・検温を行い、健康状態を把握する。感染症の早期発見、予防に努める。 ●防災、防犯訓練に参加する。 ●室内外の環境整備に参加し、意識向上に取り組む。 		一年間の保育に対する自己評価	
期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）		3期（9月～12月）		4期（1月～3月）	
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境に戸惑子もいるが、少しずつ慣れ、安心感を持って生活する。 ●保育者のそばで安心して遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活リズムに慣れてきて、一日の保育の流れに沿って生活することができる。 ●活動範囲が広がり、自然物や身近なもの、遊具に興味をもつ。 		<ul style="list-style-type: none"> ●保育者と親しみ関わりながら遊んでいる。 ●周囲の環境に興味をもち、言葉や体を使って思いを伝えようとする。 ●歌に合わせて体を動かすことを喜ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りのことを、自分でしようとする。 ●友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じ、簡単な言葉のやり取りをしながら過ごす。 ●遊具を使って楽しむ。 	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい環境や生活のリズムに慣れ、特定の保育者などとの信頼関係を築き、安心して過ごすことができる。 ●戸外で自由に体を動かすことを楽しむ。 ●保育者に見守られ関わりながら遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●園での生活を楽しみながら、身近な人と関わる心地よさを感じる。 ●簡単な言葉をくり返したり、模倣して楽しむ。 ●水、砂、土の感触を味わい夏の遊びを楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りのことに興味をもち、保育者と一緒にやろうとする。 ●落ち葉など、秋の自然物に触れて親しむ。 ●保育者や友だちと一緒に、季節の音楽やリズムに親しみ、体を動かして楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ●進級に向けて期待や喜びをもって楽しく過ごす。 ●冬の季節を感じながら健康に過ごす。 ●気の合う友だちと遊ぶ楽しさを知る。 	
養護 （生命の保持・情緒の安定）	<ul style="list-style-type: none"> ■健康で安全な環境を整え、適切な環境で過ごす。 ■一人一人の状況に応じて関り、生理的欲求が満たされるようにする。 ■園児の気持ちを受け止めながら触れ合い、安心感を持って過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■体調管理がしっかり行われる中で、戸外遊びや水遊び等、安全な環境で十分に活動できるようにする。 ■保育者との安定した関わりの中で、安心して思いを表現できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ■気温の変化に留意し、室内の環境や衣服の調節を通して快適に過ごす。 ■自分でしたい気持ちを受け止め、援助されながら達成感を味わえるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ■保育者に見守られながら、身の回りことを自らしようとする。 ■周囲の人への関心を高め、安心してやり取りを楽しむ。 	
教育 （健康・人間関係・環境・言葉・表現）	<ul style="list-style-type: none"> ●保育者に援助されながら、食事・睡眠・排泄をしようとする。 ●保育者に見守られながら、自分の好きな遊びを楽しむ。 ●身近な自然と触れ合い、興味・関心を持つ。 ●絵本に関心を持ち、喜んで見ようとする。 ●保育者とふれあい遊びをしたり、手遊びをしたりして楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育者や友達と一緒に遊びを楽しむ。 ●玩具を使って水遊びを楽しむ。 ●好きな絵本を繰り返し見たり、簡単な言葉の模倣を楽しむ。 ●保育者と一緒に手遊びしたり、音楽に合わせて体を動かす。 		<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りのことを自分でやってみようとする。 ●友達の存在を意識し、関わろうとする。 ●戸外遊びを通して秋の自然を感じる。 ●保育者や友達に簡単な言葉や指差し等で思いを伝えようとする。 ●音楽に合わせて楽しみながら体を動かす。 		<ul style="list-style-type: none"> ●オムツ交換時にトイレに座ってみる。 ●簡単な身の回りのことができた喜びを感じる。 ●好きな遊びをじっくり楽しみ、友達と一緒に遊ぶことを喜ぶ。 ●二語文や多語文が増え、保育者や友だちと一緒に会話を楽しむ。 ●遊びの中で言葉を使うことを楽しむ。 ●冬の季節の歌に親しみ、身振りや手振りを交えて楽しむ。 	
環境構成 援助 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●安全点検や衛生管理チェックを通して、保育室や園庭の安全を確認し、安心して遊べるようにする。 ●子どもの興味や発達に合った玩具を用意する。 ●一人一人の発達や生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な活動を通して、友達との関りを一緒に楽しめるように様々な玩具を用意する。 ●こまめに水分補給や休息をとりながら、快適に過ごせるようにする。 ●保育者が仲立ちとなり、友達との関わりがスムーズにできるように言葉掛けをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ●身の回りのことや玩具に興味をもてるよう、室内環境を整える。 ●やりたい気持ちを受け止め、自分でしようとする姿を見守りながら、達成感を持てるような言葉がけをする。 ●活動に乗り気でない子どもの気持ちにも寄り添い、別の機会を設けるなどの配慮する。 		<ul style="list-style-type: none"> ●友達と見立て遊びができるよう、コーナーを設置したり、十分な玩具を用意する。 ●感染症予防のため、気温や室温をこまめに調節しながら、快適な環境を整える。 ●子どもの思いを受け止め、伝えたいことを代弁しながら、関りを深めるよう仲立ちする。 ●自分でできたことを十分に褒めて、自信や意欲につなげられるようにする。 	

期	1 期（4 月～5 月）	2 期（6 月～8 月）	3 期（9 月～1 2 月）	4 期（1 月～3 月）
子育て支援 （保護者支援）	<ul style="list-style-type: none"> ●コドモンや送迎時の会話で毎日の様子を伝え、不安や疑問が解消するように、保護者との信頼関係を築いていく。 ●保護者の不安な気持ちを受け止め、丁寧に開くようにする。 ●けがなどには適切に対処し、必ず口頭で説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●衣服の着脱、食事の仕方、排泄など、園と家庭が共通意識を持って進められるようにしていく。 ●暑くなる時期なので、水分補給、休息、睡眠などの健康管理について知らせていく。 ●気温や湿度など、体に影響する事柄を分かりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保育見学・個人懇談・運動遊びなどの行事を通じて、園での子どもの様子を見てもらい、成長の過程を共感し、楽しく子育てができるように援助していく。 ●感染症情報など分かりやすく伝え、子どもの様子についてしっかり把握していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●乳児組保育参観などを通じて、子どもたちの一年間の成長を見てもらい、保護者とともに喜びを分かち合う。 ●進級に向けての説明を丁寧に言い、安心して新年度が迎えられようとする。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ●ゆったりとした雰囲気の中で食事をし、様々な食べ物を食べる楽しさを味わえるようにする。 ●食前食後のあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ひとりひとりの体調に合わせた量を調節し、楽しく食べられるような雰囲気作りをする。 ●いろいろな食材に関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●手づかみ食べを見守りながら、スプーンを使うことを少しずつ促していく。 ●苦手な食材でも少しずつ食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分で食べようとする意欲を大切にし、必要に応じて援助を行ったり、こぼさずに食べられるようになる。 ●必要に応じてフォークを使って食べる。
長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ●安全な環境の下で、遅番保育士と安心して触れ合う。 ●異年齢児交流を図りながら、家庭的なゆったりした時間を過ごす。 ●あたたかな環境の下、くつろいだ雰囲気の中で、不安や寂しさを受け止めながら遊びに集中できる環境を作る。 			
年齢別研修	<ul style="list-style-type: none"> ●「不適切な保育について」 			
自己評価				

令和6年度 2歳児 年間指導計画

南保育園

令和6年度 2歳児 年間指導計画				南保育園		園長		副園長		担任	
年間目標	・友達と一緒に遊び、様々な経験をする中で、自分のしたいことを言葉や行動で主体的に表現する。 ・生活の中で身の回りの物や数、形、色が分かり、言葉を使って伝えたり、言葉のやり取りを楽しんだりする。 ・保育者との安定したかかわりの中で、身の回りのことを自分でしようとして喜びを感じる。			健康 安全 災害	○受け入れ時、受け入れ後の十分な視診。 ○施設内外の環境整備、安全点検を行う。 ○危機管理マニュアルの確認。 ○避難訓練により地震や火災などを想定した避難方法を身につける。			一年間の保育に対する自己評価			
期	1期（4月～5月）		2期（6月～8月）		3期（9月～12月）			4期（1月～3月）			
子どもの姿	・新しい環境に不安な様子があるが、保育者との信頼関係が出来ると安心して生活ができるようになる。 ・身の回りのことを自分でしようとするが甘えの要求も強い。 ・保育者日に見守られながら、好きな遊びを見つけて楽しむ。		・友達と関わって遊びようとするが、自己主張が強くなり、ぶつかり合いが起こることも多くなる。 ・生活リズムが安定し、保育者に手伝ってもらいながら身の回りのことをしようとする。		・友達との関わりが楽しくなり、一緒に過ごすことができる。 ・一人でできることが増え、活動に意欲的に取り組もうとする。 ・語彙数が増し、言葉のやりとりが盛んになる。			・友だちとの関わりが深まり、一緒に行動し同じ遊びをすることを楽しむ。 ・基本的な生活習慣がほぼ完成する。 ・生活に必要な言葉がわかり、自分の欲求や意思を言葉で伝えることができる。			
ねらい	・新しい環境に慣れ安定感を持って過ごす。 ・好きな遊びを見つけ、保育者や友達と一緒に楽しむ。 ・身の回りのことに興味や関心を持つ。		・保育者に見守られながら、身の回りのことを自分でしようとする。 ・友達と言葉のやりとりをしながら、一緒に遊ぶ楽しさを知る。 ・夏ならではの遊びを楽しむ。		・保育者を仲立ちにしながら、友達との遊びを広げていく。 ・基本的な生活習慣を身につける。 ・戸外で体を動かしたり、自然に触れて遊ぶ。			・自分で身の回りのことができる達成感を感じ、自信を持つ。 ・自分の思いを他児に言葉で伝え、他児の思いを知る。 ・進級に期待をもち、意欲的に生活しようとする。			
養護 （生命の保持・情緒の安定）	・一人ひとり丁寧に寄り添って受け止めることで、信頼関係を築けるようにする。		・水分や休息を十分に取って健康に過ごす。 ・自分でやりたい思いを大切に、手助けが必要な時は援助していく。		・気温の変化に応じた生活を送り、健康で快適に過ごす。 ・生活の流れが分かり、自分から行動する。			・基本的な生活習慣の自立に向け、一人ひとりの姿に合わせて援助し、自分でできた喜びを感じるよう援助する。			
教育 （健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・新しい生活の流れを知り、身の回りのことに保育者と一緒に取り組もうとする。 ・戸外遊びを楽しみ、春の自然に触れる。 ・手遊びや体操、歌を保育者や友達と一緒に楽しむ。 ・固定遊具の使い方を知り、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・保育者に誘われてトイレに行ってみる。 ・名前を呼ばれると返事をする。		・好きな遊びを楽しみながら、気の合う友達と一緒に過ごす心地よさを感じる。 ・夏ならではの遊びを通して全身を動かして遊び、解放感を味わう。 ・保育者に見守られトイレでの排泄に慣れる。オムツからパンツに移行していく。 ・保育者や友達と会話を楽しみながら語彙を増やしていく。 ・様々な素材の感触を楽しんだり、素材を使って作ったりすることを楽しむ。 ・友達の名前に興味を持ち、名前を呼び合い、一緒に遊ぶ。		・集団の生活に必要な決まりが分かり、待ったり、譲ったりしようとする。 ・尿意を感じ、自分からトイレに向かったり、保育者に声を掛けたりする。 ・簡単なルールのある遊びに興味を持ち、友達や保育者と一緒に楽しむ。 ・語彙が増え、自分の気持ちをいろいろな言葉で伝えようとする。 ・秋の自然に触れ、草花、虫などの色や形に興味を持つ。 ・友達とおしゃべりを楽しむ。			・様々な遊びを通して約束事や決まりがあることを知り、それを守ろうとする。 ・生活に必要な簡単な言葉を理解し、様々な出来事に関心を示し言葉で表す。 ・身の回りの形や色、数に関心を持つ。 ・切る、丸める、貼るなどの造形遊びをする。 ・パンツで過ごし、トイレの使い方がわかり、自分で排泄する。			
環境構成 援助 配慮	・一人ひとりの気持ちを受け止め、信頼関係を築く。 ・好きな遊びを楽しめるよう、子どもの興味に応じて、遊具や用具を準備する。 ・生活習慣は個人差を踏まえて、細やかに対応する。 ・正しい遊具の使い方を知らせ、安全に遊べるように見守る。 ・戸外でのびのびと安全に遊べるように保育者間で連携して見守っていく。		・外気の温度に留意し、適切な室温・湿度を保ち、こまめに水分補給を促す。 ・水遊びは健康状態に特に留意し、安全面に配慮する。 ・戸外遊びは時間帯や場所に留意し、暑さ対策を行う。 ・身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切にする。また、必要に応じて援助を行い意欲を高められるようにする。		・全身を使った遊びができるよう、安全な環境を整える。 ・日常的に起こりうる子ども同士のトラブルに丁寧に関わる。 ・自分でしようとする気持ちを大切に、頑張りを認め、励ましたり、誉めたりし、自分でできる喜びや楽しさを味わえるようにする。			・外気との温度差が大きいので、衣服調節に留意し、手洗いやうがいを励行する。 ・身の回りのことに意欲的に取り組む姿を褒め、自信を持って進級できるようにする。 ・友だちとの関わりが深まってくる反面、トラブルも多くなるので、保育者は見守りながら、子どもの話によく耳を傾ける。			

期	1期（4月～5月）	2期（6月～8月）	3期（9月～12月）	4期（1月～3月）
子育て支援 （保護者支援）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に安心してもらえるよう送迎時や連絡帳を通して園での様子や家庭での様子を共有していく。 ・健康記録や送迎時の聞き取りにより子どもの健康状態を把握し、連携を密にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園での子どもの生活や健康状態について、家庭と密接な関係が作れるように体制を整えておく。 ・体調や気候に合わせた調節しやすい衣服について情報を共有できるように働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観や個人懇談に参加してもらうことで、園での生活の様子を知ってもらい、家庭での生活の様子や困っていること等を聞いていく。 ・保護者の思いを受け止め、気持ちに寄り添う関わりを持っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三歳児の生活の様子を伝えたり、進級への不安を聞いたりして丁寧に向き合う。 ・進級することを保護者と共に喜び、今後の成長に希望が持てるよう支援する。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンなどを使い、楽しく食事をする。 ・楽しい雰囲気の中で、食べ物に興味を持ち、自分で食べようとする。 ・食事の前後の挨拶をする。 ・一人ひとりの食事の状態を把握し、言葉をかけたり、援助をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンやフォークの正しい持ち方を知らせる。 ・給食前の準備で、見通しを持ち進んで手を洗ったりタオルで拭いたりする。 ・食前、食後の挨拶を通して、食べることや完食したことに喜びを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に関心を持ち、自分から進んで食べようとする。 ・スプーンやフォークを下から握り、自分で食べようとする。 ・友だちが食べている姿を励みに、苦手な食べ物にも挑戦しようとする。 ・器を持って食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事に必要な基本的な習慣やマナーに関心を持ち、意識する。 ・箸で食べる楽しさを味わう。 ・完食することを喜び、誉められることで更に食事に対して意欲的になる。 ・友達と一緒に食べることを楽しむ。
長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な環境の下で、担当保育者と安心して触れ合う。 ・異年齢児交流を図りながら、家庭的な雰囲気の中で、ゆったりとした時間を過ごす。 ※けんかや怪我に気を付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児間で、大きい子が小さい子に対して思いやりの気持ちを持ち、また、小さい子が大きい子に憧れの気持ちを持てるような様々な遊びを行い、優しい言葉掛け等に留意していく。 			
年齢別研修				
自己評価				

令和6年度 3歳児 年間指導計画 南保育園

令和6年度　　3歳児　年間指導計画				園 長		副 園 長		担 任	
年間目標	○生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。 ○保育者や友だちと遊びや活動の中で親しみを持ち、人との関わりを広げる。 ○自分の要求や思いをことばや行動で表現する。		健康 安全 災害	○受け入れ時、受け入れ後の十分な視診を行う。 ○毎日の清掃や消毒、園内外の安全点検を行う。 ○避難訓練、交通訓練により避難方法や歩行通行時のルールを身に付ける。		一年間の保育に対する自己評価			
期	1期（4月～5月）		2期（6月～8月）		3期（9月～12月）		4期（1月～3月）		
子どもの姿	新しい環境に緊張や不安な様子の子がいる。保育園生活の流れやリズムに次第に慣れていき、保育者と一緒に身の回りのことをしようとする。自分から好きな遊びを見つけて遊ぶ。		保育園生活に慣れ、できることは自分でしょうとする。友達との関わりを楽しむが自己主張が多くなり友達とのぶつかり合いが増える。		友達と一緒に遊ぶことを喜び、様々な遊び、活動を楽しむ。自分の思いを表現する喜びを感じられるようになる。身の回りの始末を自分でしょうとするがまだ個人差が大きい。		安定した気持ちで園生活を送り、仲の良い友達と遊ぶことを楽しむ。体験したことや想像したことを自分なりに話し、言葉での表現が豊かになる。保育者や友達の手伝いを喜ぶ。		
ねらい	○園生活の流れを知り、園の生活リズムに慣れる。 ○保育士や友だちに親しみ、安定した気持ちの中で好きな遊びを楽しむ。		○保育者に見守られながら、身の回りのことを自分でできるようにする。 ○保育者や友だちと一緒に、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。		○伸び伸びと体を動かして遊ぶ。 ○保育者や友達と一緒に生活することを楽しみ、話したり聞いたり、会話を楽しんだりする。 ○友達と一緒に活動する楽しさを味わう。		○基本的生活習慣が身に付き、自信を持って生活する。 ○友達と遊んだり、話したりすることを楽しむ。		
養護 （生命の保持・ 情緒の安定）	・園内外の危険や安全についての約束事を伝え、安全に生活できるようにする。 ・子ども達が安心して過ごせるよう、一人ひとりの気持ちを受け止め、優しく丁寧に対応する。		・水分補給や休息、衣服の調節をして快適に過ごせるようにする。 ・生活リズムや心身の状態を確認し、健康や安全に配慮しながら夏の遊びを楽しめるようにする。		・運動量が増えるので、休養を十分にとり、体調を崩したり怪我が起きないように配慮する。 ・一人ひとりの頑張りを見逃さず、成長を認めながら意欲につなげていく。		・手洗いうがいをしっかり行い、換気や清掃で感染予防に努める。 ・1年間の子どもの成長を認めることで、自信を持って進級できるようにする。		
教育 （健康・人間関係・環境・言葉・表現）	・基本的生活の仕方を知り、簡単な身の回りのことを保育者と一緒にしようとする。 ・クラスの友達や保育者と遊び、親しみを持つ。 ・戸外で体を動かして遊び心地よさを感じる。 ・自分の気持ちを言葉で伝えようとする。 ・保育者と絵本を見たり、歌や手遊びを楽しむ。		・生活の流れが分かり、できることは自分でしょうとする。 ・友達と遊ぶ中で、自分の思いを表現したり相手の気持ちを知ったりする。 ・水遊びや泥遊び、プール遊び等、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。		・友達や保育者と走ったり思い切り体を動かしたりする心地よさを味わう。 ・遊びの中で友達とのやり取りを楽しみながら、生活に必要な言葉を知っていく。 ・友達や保育者とごっこあそびや表現遊びを楽しむ。		・生活の流れに見通しを持って身の回りのことを自分からしようとする。 ・自分の感じたこと思ったことを言葉で伝えたり、相手の話を聞こうとする。 ・友達と簡単なルールのある遊びを楽しむ。		
環境構成 援助 配慮	・生活の仕方は一人ひとりに応じて援助していき、自分でしょうとする気持ちを育てる。 ・一人ひとりを温かく受け入れ安心感を持てるようにする。 ・園庭の危険箇所を把握し、正しい遊具の使い方を知らせ、安全に遊べるように見守る。・		・自分でやろうとする意欲を大事に、出来た嬉しさを感じられるようにしていく。 ・子どもの言葉や表情から思いを受け止め共感しながら関わっていく。 ・気温に合わせて水遊びやプール遊びが出来るように場や遊具などを整えていく。		・全身を使った遊びが繰り返し楽しめるよう遊具や用具など環境を工夫していく。 ・子ども達の様子や思いをくみ取り、必要に応じた援助をする。 ・いろいろな行事などに、無理なく参加できるような取り組み方を工夫する。		・室温や湿度への対応をするなど安全、健康な環境に留意する。 ・個々の成長を認め、自信へとつなげ、進級への期待や喜びが持てるようにする。 ・子どもの興味に合わせ、環境や遊具を整え、友達との遊びが深まるようにしていく。		

期	1 期（４月～５月）	2 期（６月～８月）	3 期（９月～１２月）	4 期（１月～３月）
子育て支援 （保護者支援）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の気持ちを受け止め、子育ての喜びや悩みを共有し、信頼関係を築いていく。 ・保護者に安心してもらえるよう、園での生活を話したり、家庭の様子を聞いたりする。 ・健康記録や送迎時の聞き取りにより子どもの健康状態を把握し、連携を密にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活の中で、自分の力で頑張っている姿を具体的に伝えていく。 ・一人一人の健康状態を水遊びカードや口頭で伝えあい、家庭と連携していく。 ・体の清潔や、着脱しやすい衣服の準備など、夏の健康に関して情報提供していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会や発表会では、自分のクラスや他の年齢の発表を見ることで、子どもたちの成長した様子を感じてもらう。 ・寒さに向けての健康管理の大切さや、生活習慣などをお便りなどで家庭に呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの健康状態を、送迎時に伝えあい、家庭との連携を密にしていく。 ・１年間を振り返り、子どもの成長を保護者とともに喜び合う。 ・生活が不規則な家庭には、進級に向けて再度生活リズムの見直しをお願いする。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・給食やおやつを保育者と一緒に楽しく食べる。 ・スプーンを３本の指で持てるよう伝え楽しく食事が出来るようにする。。 	<ul style="list-style-type: none"> ・畑の苗の様子を見せてもらい、興味を持つ。 ・苦手なものも一口ずつ食べてみようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や運動量に合わせて食事の開始時間や量など時期に応じて調理員と連携を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動を通し、給食準備や挨拶など、自分たちで用意して食事をしようとする。
長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境の中で、一人ひとりが安心して過ごせるように状況に応じて配慮していく。 ・保育時間が長くなるので、個々の体調を見ながら、絵本・パズル・ブロックなどの静かに遊べるものを用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日が続くと、室内での遊びが多くなるので、のびのびと活動できるよう、玩具や活動の内容を工夫していく。 ・室内の温度や湿度をエアコンなどで調節したり、水分補給を促したりして快適に過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕と日中の気温差が大きい日もあるため、午後は一人ひとりの体調に合わせて過ごせるように環境を整えていく。 ・日が短くなって不安になる子どももいるので、気持ちに寄り添い安心できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋で過ごす時間が長くなるので、異年齢でも一緒に遊べるものやこの時間だけ遊べるゲームやパズルなどを用意し楽しく過ごせるようにする。 ・状況に合わせて、室温を調節し温かく過ごせるようにする。
年齢別研修				
自己評価				

2024 年度 4 歳児 年間指導計画 南保育園

2024 年度 4 歳児 年間指導計画 南保育園				園 長		副 園 長		担 任	
年間目標		○園生活に慣れ、喜んでいろいろな活動に取り組み、日常生活に必要な習慣や態度を身につける。 ○全身のバランスを取りながら体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ○いろいろな遊びに興味を持ち、保育士や友だちとの関わりを広げる。 ○身近な社会や自然の事象に興味や関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりして生活に取り入れる。 ○遊びの経験を広げ、いろいろな方法で表現する。 ○豊かな経験を通して生活に必要な言葉を身につける。	健康 安全 災害	○健康、安全に必要な習慣や態度を身につけ、理解を深める。		一年間の保育に対する自己評価			
期	1 期（4 月～5 月）		2 期（6 月～8 月）		3 期（9 月～12 月）		4 期（1 月～3 月）		
子どもの姿	○進級に喜びを感じている子、不安を抱えている子がいる。 ○衣服の着脱、食事、排せつなど身の回りのことの必要性がわかり自分でしようとする。 ○好きな場所や遊びを見つけ、友だちと関わる姿が見られる。 ○思い切り体を動かし、保育士や友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。		○園生活に慣れ、見通しを持って身の回りのことを自分でしようとするが、援助が必要な子もいる。 ○生活範囲が広がり、活発に活動するようになる。さらに新しい事象への関心が高まりチャレンジする。 ○周囲の子への関心が出てきて、新しい関わりが生まれ、同じ場所で遊ぶことを喜ぶ。 ○開放的な遊びを通して、友だちとの関わりが広がる。		○全身運動が活発になり、友だちと関わりながら体を動かす楽しさも味わえるようになる。 ○友だちとの遊びを通して生活の決まりや遊びのルールの大切さに気づく。 ○周囲の人や物への興味や関心が強くなり、自分もやってみようとする意欲や気持ちが見られる。 ○自分の思いや感じたことを時運なりに表現する。		○全身運動が活発になり、友だちと関わりながら体を動かす楽しさも味わえるようになる。 ○友だちとの遊びを通して生活の決まりや遊びのルールの大切さに気づく。 ○周囲の人や物への興味や関心が強くなり、自分もやってみようとする意欲や気持ちが見られる。 ○自分の思いや感じたことを時運なりに表現する。		
ねらい	○園生活に慣れ、保育士に親しみを感じて安心して過ごす。 ○生活の仕方がわかり、できることは自分でしようとする。 ○自分でやりたい遊びを見つけて自分から遊ぶ楽しさを味わう。 ○戸外で身近な自然に触れて気持ち良く過ごす。		○戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ○友だちとのふれあいの中で一緒に遊ぶことを楽しむ。 ○思ったことや考えたことなどを表現し、いろいろな素材や用具の扱いを知る。 ○身近な自然に触れて、季節感のある遊びを十分に楽しむ。 ○梅雨時や夏の生活の仕方を知り、健康に過ごす。		○いろいろな運動遊びを喜んで行い、様々な体の動きを楽しむ。 ○共通の目標に向かって力を合わせ、達成する喜びを味わう。 ○仲間の中の一人という自覚を持ち、一つのことに取り組む楽しさや感動を共有する。 ○身近な自然とふれあい、興味を持ってふれたり、見たりすることを楽しむ。		○いろいろな遊びに興味を持ち、保育士や友だちと関わり、自分の力を発揮して活動に取り組む。 ○友だちと一緒に試したり工夫したりして遊びを進める楽しさを味わう。 ○自分でできることは自分で行い、生活する態度を身につける。 ○進級することへの期待を持つ。		
養護 （生命の保持・情緒の安定）	○保育士は一人ひとりの子どもを温かく受け止め、ふれ合う中で安心感を与え、園生活の楽しさや園生活の仕方がわかるように丁寧に関わる。 ○新入児と進級児の遊び方や生活の仕方の違いに配慮し、一人ひとりが安心して取り組めるようにする。		○一人ひとりの子どもを理解し、気持ちを受け止められた喜びが感じられるような働きかけをして、信頼感を深めていく。 ○適度に休息を取れるよう、活動の時間や流れ、場の工夫をする。		○友だちとのつながりも強くなり、周りの様々なことに関心が高まる。他人の判断や行動と自分の考えとの相違に気づき、盛んに保育者に伝えてくる。丁寧に「聞く」ことを大切にし、伝えたことが安心感になるようにする。		○園生活が心地よく過ごす態度が身についていくようにする。 ○一人ひとりの思いや自己表現のおもしろさや楽しさが、その人らしきなんだということが伝わっていくような語り掛けやしぐさで心掛けたクラスの雰囲気づくりをあい、自信と自己肯定感がさらに育まれるようにしていく。		
教育 （健康・人間関係・環境・言葉・表現）	○食事・排せつ・着脱などの基本的な園での生活の仕方を知り、自分でしようとする。 ○保育者や友だちと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○園の道具や用具に親しみ、安全な歩行や避難の仕方を知る。 ○保育者とのやり取りを楽しみ、親しみを持つ。 ○友だちと一緒に楽しみながら食べる。 ○友だちと同じことをしたり、ふれ合ったりして楽しむ。 ○日常生活に必要な挨拶をする。 ○して欲しいことや困ったことなどを保育士にいろいろな方法で伝えようとする。 ○絵本や紙芝居などの内容や物語に興味を持ち、楽しむ。 ○音楽やリズムに合わせて、動いたりやり取りをしたりする。 ○思い思いに描いたり、作ったりすることを楽しむ。		○伸び伸びと体を動かし、様々な遊びを楽しむ。 ○全身を使って水遊びを楽しむ。 ○道具や用具の扱い方を知り、安全に使って遊ぶ。 ○雨が続く日や暑い日の生活の仕方を知る。 ○園生活の決まりに気づき、約束を守ろうとする。 ○簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ○友だちに親しみをもち、同じことをしたり、関わったりする。 ○身近な動植物を見たり、触ったり世話をしたりしながら興味や関心を持つ。 ○日常生活や友だちとの遊びの中で必要な言葉の使い方に気づく。 ○歌や曲に合わせて楽器を使ったり、自由に動いたりして楽しむ。		○いろいろな遊具や用具を使い、戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○戸外でルールのある遊びに喜んで参加し、友だちと体を動かすことを楽しむ。 ○みんなで使うものを大切にしたり、きまりの大切さに気づいたりし、友だちと楽しく生活する。 ○自然物など集めたり、数えたり、分けたり並べたりすることに関心を持つ。 ○園外での行動の仕方や約束を覚える。 ○絵本や童話などを喜んで見たり、聞いたり、ストーリーを再現したりして、いろいろな表現を楽しむ。 ○歌や合奏をみんなでする楽しさを味わう。音やリズムをみんなで合わせる楽しさを知る。		○自分の健康に関心を持ち、様々な食べ物を進んで食べる。 ○生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。 ○簡単なルールを作り出し、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○園庭の危険な物や危険な箇所を知り、安全に気をつける。 ○良いことと悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。 ○園行事などで自分の役割を持ち、友だちと一緒に楽しんで進める。 ○友だちと楽しく生活する中で、決まりの大切さに気づく。 ○身近な物や遊具に興味を持って関わり、試したり工夫したりして遊ぶ。 ○冬から春にかけての自然事象に興味や関心を持つ。 ○自分の思ったことや考えたことを、言葉で相手に伝えようとする。 ○保育士や友だちの話を聞こうとする。 ○遊びに必要なものを工夫して描いたり作ったりして、それを使って友だちと遊ぶ。 ○進級することを楽しみにし、保育室の片づけをする。		
環境構成 援助 配慮	○室内外の環境を明るく清潔に整え、安全で快適に過ごせるようにする。 ○保育士は一人ひとりの子どもを温かく受け止め、心の動きを十分に察して共感し、励まして安心感を与えるようにする。 ○ありのままの姿を受け止め、丁寧に関わって信頼関係を築き、安心して過ごせるようにしていく。 ○生活の仕方の違いに配慮し、基本的生活習慣が身についていくようにする。 ○食の安全（食物アレルギー、安全な食材選び）への配慮や多様な食材、料理法を通して好き嫌いをなく食べられるよう進めていく。		○天候や気温に応じて、子どもたちの体調に留意するとともに熱中症・水分補給、衣服調整など一人ひとりの様子を把握し、子どもが自分から取り組めるようにする。 ○梅雨や夏ならではの季節を考え環境を構成するとともに、静と動のバランスを考え発散できるよう工夫する。 ○安心して自分の思いが伝えられるよう、ゆったりとした雰囲気をつくるようにする。 ○保育士が仲立ちとなり、友だちとの接し方や遊びへの参加の仕方がわかるよう場面を捉えて援助する。		○季節や事象の変化にふれる機会を持つようにし、子どもの発想や感動を引き出し、豊かになるよう援助する。 ○約束を守ることの大切さに気づき、一緒に考えながら、できるだけ子どもたちで解決できるようにする。 ○保育士も子どもと一緒に体を動かし、運動遊びの楽しさを味わえるような日常の体験を重ねて運動会へつなげていく。 ○友だちとの関わりが持てる場を工夫し、一緒に活動する喜びが味わえるようにする。子ども同士の模倣や認め合いを大切にし、表現する意欲や創造性が育まれるようにする。		○子どもの健康状態を把握し、室温・湿度の調節や換気に留意する。 ○天気のいい日には戸外で遊び。室内にこもりがちにならないようにする。 ○年長児担任と連絡を取り合い、年長児からいろいろな当番の仕事の仕方を教えてもらいえる場や機会を設ける。 ○ごっこ遊びなどにじっくり取り組めるよう遊びの場を構成し、展開に応じて変化させていく。		

期	1 期（4 月～5 月）	2 期（6 月～8 月）	3 期（9 月～12 月）	4 期（1 月～3 月）
子育て支援 （保護者支援）	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちの緊張と不安を十分に受け止めるとともに、安心して登園できるように保護者から家庭での様子を聞き、理解に努める。 ○送迎時の会話や園だよりなどを通して子どもの様子を細やかに伝え、園と家庭が交互に情報交換しながら子どもの成長を支えあうことができるように関係をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者の不安や疑問には丁寧に対応し、家庭との信頼関係を築くようにする。 ○園での生活や遊びの様子を通して子どもの成長(変容)を相互理解し、ともに子育てをして信頼関係を深めていく。 ○保育参加の中で子どもたちの育ちを伝え、園の保育目標の理解を促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動会などの園行事の意味や考え方を理解して参加してもらうために具体的な内容や方法・過程について知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの成長の姿を具体的に保護者に知らせ、保育士と保護者とで成長の喜びを共有する。 ○子どもの成長を過程でもたくさんほめてもらい、年長になることへの期待や地震につなげていけるようにする。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しい雰囲気の中で友だちや保育士と一緒に食事をする。 ○基本的な食事の仕方を知り、自分でしようとする。 ○苗植えや種まきについての話し合いをし、期待を持つ。 ○継続的に野菜の世話をし、愛情を感じながらよく観察する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食事のマナーを身につけ、楽しんで食べる。 ○野菜の生長を観察し、育てる喜びや大切にしたい気持ちを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体と食べ物の関係について興味や関心を持つ。 ○旬の食材から季節感を感じたりおいしさを味わったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の健康に関心を持ち、様々な食べ物を進んで食べる。
長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ○長時間保育を楽しみにしている子どもがいる一方で、そうでない子どももいる時期なので一人ひとりの気持ちに寄り添っていく。 ○異年齢児交流を図りながら、家庭的な雰囲気の中でゆったりした時間を過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○プール活動や気温の上昇によって体力を消耗しやすい時期なので、夕方は室内でゆっくりと過ごすことができるような遊具や場を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏の疲れが出たり、運動量が増えたりするので休息が十分に取れるようにする。また、落ち着いて過ごせる時間や場を構成し、ゆったりと過ごせるようにする。 ○夕方は日中との気温差に配慮しながら戸外に出て、秋の自然を感じ散れるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日没が早くなるので室内の遊びを充実させ、安心してゆったりと遊べるようにしていく。 ○感染症が流行して体調を崩しやすい時期なので、子どもの健康状態を職員間で細やかに連絡し合い、健康に気持ちよく過ごせるよう配慮する。
年齢別研修				
自己評価				

令和6年度 5歳児 年間指導計画

南保育園

		園長		副園長		担任	
年間目標	○基本的な生活習慣がわかり、見通しをもって自ら考え、行動する力を身につける。 ○友達との関わりの中で、お互いに認め合い、協力して目標に取り組むことにより達成感や充実感を味わう。 ○様々な遊びや活動を主体的に行いながら、自分の力を発揮し表現する力を身につけ、豊かな感性を育む。		幼児期の終わりにまでに育てほしい姿 10 項目		ア)健康な心と体 イ)自立心 ウ)協同性 エ)道徳性・規範意識芽生え オ)社会生活との関わり カ)思考力の芽生え キ)自然との関わり・生命尊重 ク)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ)言葉による伝え合い コ)豊かな感性と表現		
小学校との連携（小学校教育との接続）	○小学校周辺の散歩を通し、小学校に興味関心をもち、期待をする。 ○要録を記入し、担任間の打ち合わせを行う。	健康 安全 災害	○健康な体づくりに関心をもち、病気や事故防止に努める。 ○交通ルールを理解し、実施しようとする。 ○緊急時、落ち着いて行動する。		一年間の保育に対する自己評価		
期	1 期（4 月～5 月）	2 期（6 月～8 月）		3 期（9 月～12 月）		4 期（1 月～3 月）	
子どもの姿	・年長になったことを喜びや期待もありながらも、緊張感や不安感を持つ子どももいる。 ・年下の子の面倒をみたり、一緒に遊んで楽しむ姿が見られる。	・気の合う友達と活動したり遊んだりするが、考えや思いの違いからトラブルが起こることもある。 ・身の周りの事象に興味を持ち、友達と一緒に考える姿がある。		・仲間意識を深め、友達や保育者と親しみをもちながら過ごす。 ・同じ目的に向かい取り組み、一つのことを成し遂げる達成感、充実感を味わう。		・相手の気持ちを考え、一人ひとりが自信を持ち充実感を味わいながら行動できるようになる。 ・決まりを守り、見通しを持って過ごす。	
ねらい	○新しい環境に慣れ、保育者や友達と遊びや生活する楽しさを味わう。 ○年長になった喜びを味わいながら友達や保育者と様々な活動に取り組む。 ○身近な自然に関わり、美しさや季節の変化に興味を持つ。	○友達とのつながりを深め、お互いの思いを伝え合いながら遊びの幅を広げていく。 ○梅雨や夏の生活の仕方がわかり、健康に過ごす。 ○友達と目的を持って試したり、考えたりする。		○遊びや生活の中で、友達と共通の目的を持ち、工夫しながら活動に取り組むことを楽しむ。 ○身の回りの自然、社会現象に関心を持ち見通しを持って行動する。 ○様々な活動を通して、表現力を豊かにする。		○互いの良さを認め合いながら集団生活のきまりを守り見通しを持って生活する。 ○様々な経験や人との関わりを通し自立心を高め、就学への意欲を持つ。	
養護 （生命の保持・ 情緒の安定）	・一人ひとりの気持ちを受け止め、信頼関係を築き安心して過ごせるようにする。 ・基本的な生活リズムを整え健康な生活を送るために必要な習慣を身に付けていけるようにする。	・清潔で安全な環境を整え適度な運動と休憩のバランスの取れた生活が過ごせるようにする。 ・子ども一人ひとりの体調管理をし、子どもたち自身が体調の変化に気付けるようにしていく。		・友達の良さや自分の良さに気付きお互いに認め合えるよう援助していく。 ・目標に向かい、最後までやり遂げる気持ちを育てるように認めたり誉めたりしていく。		・卒園までの時間を大切にし、園生活を振り返る中で友達と過ごす心地良さや充実感を味わう。 ・一人一人が園生活を通じて培われた力や自信、誇りを持って就学を迎えられるようにする。	

<p>教育</p> <p>(健康・人間関係・環境・言葉・表現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児として生活に必要な言葉や表現の仕方に関心を持ち、新たな習慣を身に付ける。 ・保育者や友達との関わりを楽しみ戸外で伸び伸びと遊ぶ。 ・園生活でのきまりを確認し進んで守る。また、安全に気を付けて道具や遊具を正しく使う。 ・グループで活動する中で遊びを工夫し、計画を立てたり友達とのつながりを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で自分の思いを伝え、相手の気持ちや考えを知ろうとする。 ・自分なりに目標を持って挑戦してみる。 ・いろいろな運動に興味を広げ十分に体を動かし、ルールを守って遊ぶ。 ・自ら気付いて汗の始末や衣服の調節を行う。 ・暑さに配慮しながら食事や水分をとり、体力づくりをし、夏の遊びを楽しんでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりの中で、相手の気持ちに気付き、受け止め、言葉を通して心を通わせるようになる。 ・活動意欲の高まりと共に生じる競争心や達成感を認め、自信が持てるようになる。 ・遊びや生活の中で文字、記号などに興味・関心を持つ、 	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に見通しを持ち時間を意識して行動する。 ・園生活を通して、自分で考えながら場面に応じた行動ができる。 ・日常生活を通して、必要な文字、数、標識などに興味を持つ。 ・様々な人との触れ合いを通し、自分が成長したことに気づき、感謝の気持ちを持つ。
<p>環境構成 援助 配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと共に生活の場を作ること大切に、安心、安全に過ごせる環境を整える。 ・のびのびと安定した気持ちで生活ができるよう一日のメリハリや活動の流れに沿ってゆとりのある時間配分をしていく。 ・何かに挑戦したいと思っている気持ちや、役に立ちたいという気持ちを認めながら、年下の子どもたちと関わる機会をつくっていく。 ・健康に過ごせるよう室内の換気・室内の温度調節や子ども同士の間隔に配慮する。▼ 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との話し合いでは、見守り、必要な時は保育者が仲介する。 ・挑戦する姿を認め、やる気や自信につなげていく。 ・気温や湿度が高いので室温や通気に配慮し水分補給に十分配慮する。 ・水遊びでは水に親しみを持たせながらも、その危険性についても伝えていく。 ・気の合う友達と一緒に活動を楽しめるよう場の構成や時間に配慮しゆとりを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の多様な取り組み方を受け止め、知的好奇心や探求心が満足できるように様々な素材を用意する。 ・自分の体に興味を持ち、自ら健康に過ごそうとする意識を持てるようにしていく。 ・友達の良さや自分の良さに気づき、互いに認め合えるように援助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の見通しが見つからない子には、個別で次に行う流れを伝える。 ・友達とのトラブルではなるべく自分たちで解決できるよう見守る。 ・就学を迎える保護者の不安が少なくなるよう小学校と連携し必要な情報を保護者に知らせていく。 ・一人一人の良い所や頑張りを認め、自信を持って進学できるようにしていく。

期	1 期（4 月～5 月）	2 期（6 月～8 月）	3 期（9 月～12 月）	4 期（1 月～3 月）
子育て支援 （保護者支援）	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら保護者とのつながりを育んでいく。 ・個人懇談の実施（5 月～6 月）▼ 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の成長や頑張りを保護者に伝えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会への取り組みを保護者に伝え、子どもの成長する姿を共に喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けて保護者の不安が少なくなるよう、小学校と連携し交流の様子などを保護者に知らせていく。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・当番活動に進んで参加する。 ・食事のマナーを守ることを通して基本的な生活を身に付ける。 ・苦手なものを少しだけでも食べてみようとする。 ・外でおやつ等食べる機会を作る。（お花見など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の時間を意識し、時間内に食べ終われるようにする。 ・身近な野菜について調べたり、野菜の苗を植える。 ・当番で野菜に水やりをしたり、野菜の収穫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの体の成長が食べ物と関係していることを知る。 ・食べ物のグループと働きを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの給食を振り返り、思い出しながらみんなで食べることを楽しむ。 ・食材を育てた人や調理した人に感謝の気持ちを持つ。
長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の状態に注意深く配慮しながら家庭と連携していく。◀ 	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな水分補給や衣類の調節など、自分で考えながら快適に過ごそうとする。 ・夏の疲れがでたり運動量が増えたりするので一人ひとりの状況に応じて接する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に年下の子の面倒を進んでみようする姿を認め、仲立ちしていく。 ・一日の疲れや保護者を待つ気持ちを保育士等が受け止め温かく関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な換気や加湿の下、進んで年下の子の面倒をみたり、優しく関わったりし、異年齢での交流を楽しむ。
年齢別研修	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマ「 」 ○サブテーマ「 」 ○内容「 」▶ 			
自己評価				